

テーマ 1 : 日本人学校における探究学習

研究提携校における 2024 年度までの取り組みの様子

○研究提携校

- ・ シカゴ双葉会日本語学校全日校（シカゴ日本人学校）
- ・ ハンブルグ日本人学校

2021年のAG+プロジェクト開始年度より、本研究に携わって日本人学校における探究学習について学校全体で研究に取り組んでいます。

こちらで紹介するのは、2024年度までに各学校で取り組んできたことの一部です。研究は継続中ですので、この後も随時新しい情報を発信していく予定です。また本資料の中にある各学校の細かい資料等についても、今後公開していく予定です。

シカゴ日本人学校における探究学習の実践について

ー探究学習の構築・英語と探究学習の融合ー

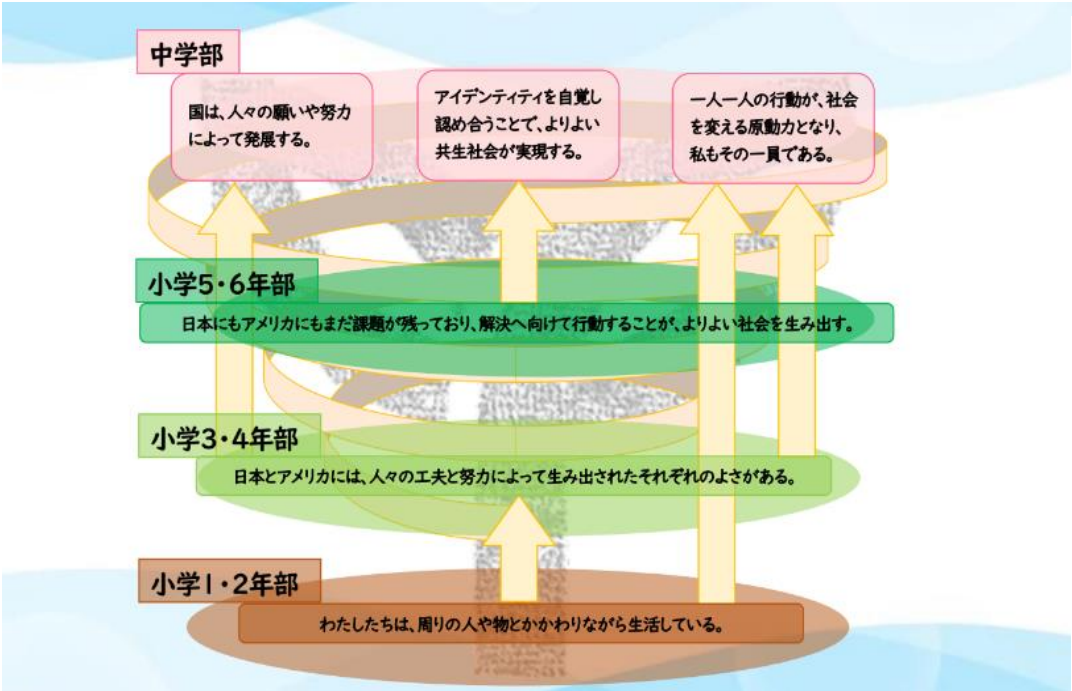
シカゴ日本人学校の特徴を生かした「探究学習」について

「探究学習」と聞くと、特色ある単元開発、現地の素材や人との交流を含めた学習をイメージしやすいと思いますが、アメリカという土地柄、子どもたちが主体的に調査活動をしたり、インタビュー活動をしたり、繰り返し校外学習をしたりする環境づくりが難しいことが現状です。そこで…

教科学習から探究的な学びを定着させ、そこから発生した興味・関心を個々の探究学習のテーマに結び付けることを中心に探究学習を構築してきました。
(ここでは、2024年度までの成果の一部をダイジェストでご紹介します。)

探究学習の構築

探究学習で育てたい価値観と探究学習のためのスキルの両面から育てたい学力観を描く



シカゴ日本人学校 小学部 探究スキル 到達目標(案)

2024.5.2

	1・2年生	3・4年生	5・6年生
課題の設定	各教科等の学習の「探究のたね」から、自分なりの課題を設定することができる。	課題に対して、自分なりの予想を立てることができる。	最初の課題から発展した次の課題を再構成することができる。
情報の収集 〔収集〕	観察・実験・見学・調査・探索・追体験などから、課題解決につながると考えられる 1つ以上の方法を選び 情報を収集することができる。		
情報の収集 〔蓄積〕	情報源を必ず記録することができる。	書籍やデジタル情報の出典を明確にすることができる。	収集した情報を分類し、二次利用しやすいように紙面やICTで蓄積することができる。
整理・分析	比較する 共通点や相違点を明確にして、整理することができる。	分類する 表やグラフ、資料などを用いて分類・整理し、特徴を見つけることができる。	関連付ける 適切な資料や思考ツール等を選んで情報を整理し、情報と情報の関係を見出すことができる。
まとめ・発表	項目や順序を立てて、相手に伝えるようにまとめることができる。	目的に応じて、伝えるための方法を選ぶことができる。	教科間や学年間のつながりを意識した視点を含んで伝えることができる。

小学部での探究学習

児童へのオリエンテーションの一部 — 学び方を学ぶ —

たんきゅうき がくしゅう
探究的な学習とは？

シカゴ双葉会日本語学校の
「みんなで」大切にしていきたい
学習です

どんなことを
するのかな？

おぼかしそう……

たんきゅう
探究スター

この学校オリジナルの
考える力をつけるための
合言葉です

あれ、どうして
だろう？

よし、ためしてみよう！

こうすると、もっ
とよさそう……

ぜんぶ
たんきゅう
探究です

しらべたら、こ
んなことがわ
かったよ。

こうすると、もっ
とよさそう……

学校にいるあいだはもちろん
大人になってもやくだちます

こうするとい
かも。

たんきゅう
探究スター

この学校オリジナルの
考える力をつけるための
合言葉です

みんなも ぼくといっしょに
たんきゅうスターになろう！
「めざせ たんきゅうスター」

探究のたね



教科の授業の中
でもっと学びたいこ
と、疑問に思った
ことなどを「探究
のたね」として提
示させ、教科横断
的な探究学習へと
発展させる。

たんきゅう 「探究スター」

にているところは？ ちがうところは？

「～と～のにているところは、どんなところだろうか。」
「～と～は、～というところがにています。」

くらべる
(へんか)

りゅうづける
(げんいん)

ぶんるいする
(とくちょう)

なぜ？

「どうして～なのだろうか。」
「なぜなら、～からです。」

なかまわけ ～といえば
「～をあらわすキーワードは？」
「さまだまないけんを、～のしてんでわ
けてみよう。」

つなげる
(かんれん)

まなびをつなげると……
「～と～は、どのようにつながっている
のだろうか。」

ためんてき
にみる(してん)

たちばをかえると……
「～のたちばでかんがえのと、どうだ
うか。」

学習するうえでのものの見方・考え
方を、日常的な授業の中で常に意識させ、
探求的な学びを日々の教科学習の中か
ら定着していくことを目指す

「探究のたね」から発生した課題をもとに、本格的な探究学習をスタートさせる（3・4年生の例）

探究的な学習 双葉スタイル ①ガイダンス

入りたいグループ	名前
----------	----

1. はじめに

探究的な学習のながれ

- ①自分で問いを立てる
- ②情報を集める
- ③分ける
- ④まとめて発表する

ふだんのじゆぎょうで、「どうしてだろう?」と考えることがとても大切です!

1学期に、探究的な学習についてお話したことをおぼえていますか。みなさんが、ふだんの授業で積み重ねてきた「探究のたね」が、ろう下にもかざられていますね。

2学期は、自分(たち)が立てた課題の解決へ向けて、探究を深めていきましょう。どのようなことが明らかになるのか、楽しみですね。

2. 探究グループの決定

みなさんの1学期までの学習や生活の様子をもとに、3・4年生チームでは、4つのグループを結成されます。これまでの学習や生活のけいけんをもとに、自分が入るグループを決めましょう。

グループ名(仮)	中心となる探究課題 ※課題によってこれ以外のものに関わることもあります。	つながりの深い教科 ※課題によってこれ以外の教科に関わることもあります。
A 食べ物	かんきょう・食	理科・社会・算数(・家庭)
B シカゴの生活	国さい理かい・キャリア・地いきけいさい	外国語・国語・社会・算数
C 遊び・スポーツ	伝とう文化・けんこう	音楽・外国語・社会・体育
D ものづくり	ものづくり・安全	図工・理科・社会

グループ名(仮)	問いの例
A 食べ物	「理科の授業では、上手にオクラが育ったよ。でも、ピーマンは今一歩うまいかなかったなあ……。シカゴでは、秋冬にどんな野菜を育てることができるのかな?」 ★学校園活用大作戦 ～自分たちが作った野菜でランチを作ろう～
B シカゴの生活	「社会科見学で、日本の会社を作ったせんべい工場のみみつが分かったよ。そもそも、ぼくたちのお父さんは、どうしてシカゴで働いているんだろう?どんな仕事をしているのだろうか?」 ★シカゴにある日本の会社を探ろう ～シカゴのお仕事ブックを作ろう～
C 遊び・スポーツ	「Arbor Dayの発表で、『大きな栗の木の下で』を英語で発表して楽しかったなあ。他にも英語のできる歌や手遊びをおぼえて、みんなで作りたいなあ。」 ★みんなが知らない日本とアメリカのおすすめ手遊び ～幼稚園児と交流～ 「ロサンゼルスオリンピックでは、フライングフットボールをやるって聞いたけれど、体育でやったことがリビック種目になるなんておもしろいな。世界のいろいろなスポーツをもっと知って、やってみたいなあ。」 ★みんなで体験 世界のおもしろスポーツ
D ものづくり	「ぼくは、今年、双葉会に転入したけど、来る前に、もっと学校のことを知れたら、気持ちがおもしろいなあ。」 ★シカゴ双葉会日本語学校紹介ムービーを作ろう

3. 探究的な学習の流れ

月	活動	内容	発表会の予定
9-10	1 個別探究	一人一人が自分の問いについて、探究を進めます。	10/4 個別発表会1
10-12	2 グループ探究	一人一人が見つけた解答を持ちよって、グループでさらに探究を進めます。	12/6 グループ発表会
1-2	3 個別探究	一人一人が、探究的な学習を通して学んだことを整理・分けて、まとめて発表します。	2/7 個別発表会2

個人探究から協働探究へ（5・6年生の例）

【問いを立てる】

<自分の問い>
アメリカの災害の特徴とそれに応じた防災バッグとは?



<問い>

1年の中で、世界各国の災害は、いつ、どのようにして起きるのだろうか?



【情報を集める】

<質問をした世界各国の学校>

- ・オーストラリア シドニー日本人学校
- ・フィリピン マニラ日本人学校
- ・エジプト カイロ日本人学校
- ・カナダ トロント補習授業校
- ・インド ニューデリー日本人学校
- ・ベルギー ブラッセル日本人学校

中学部での探究学習

英語と探究学習の融合

ネイティブ英語教員による英語での探究課題につながる情報提供、それを基にして生徒の個人探究、英語によるプレゼンテーション、現地中学校・大学との交流活動等に発展。

ネイティブ教員による情報提供

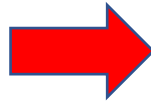


大テーマ「アメリカにおける差別を通して日本を考える」

各グループの小テーマ

- | | |
|---------------|---------------|
| ① 「差別の始まり」 | ④ 「無意識の偏見&差別」 |
| ② 「身近な差別」 | ⑤ 「メディアの影響」 |
| ③ 「差別をなくすために」 | |

- ・グループでの探究活動を経て、その成果を共有し、中学部として秋の「双葉フェスティバル」で小学生や保護者に向けて劇を発表する。
- ・小学生でもわかるような配慮をしたり、一部英語を取り入れたりして劇を完成させる。

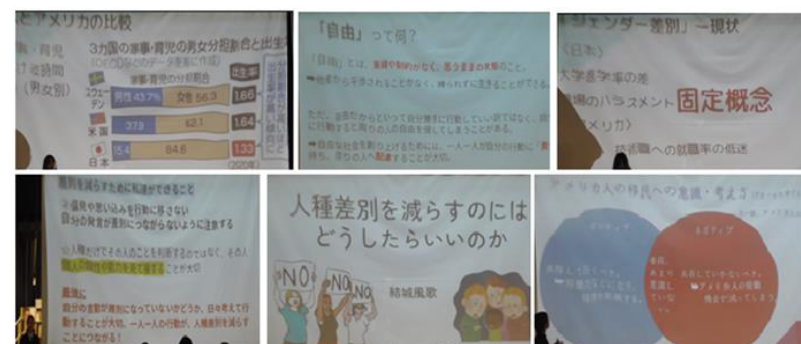


その後さらに個人探究をすすめ、その成果を発表しあったり、現地の中学生に向けて英語でプレゼンテーションしたりする活動に継続していく。

現地校中学生への英語でのプレゼンテーション



個人探究とプレゼンテーション



ネイティブ教員との協力体制で、英語での情報のインプット、アウトプットを英語の授業として実施し、生徒各自が抱いた課題意識の追究やまとめは探究学習として進める。

(ネイティブ教員に入ってもらったことのメリット)

・アメリカに暮らす人々の抱える社会問題やその歴史的な背景等を現地の人ならではの視点で生徒に投げかけてもらう。

・日頃より生徒に英語を教えている教員だからこそ、生徒の英語力の差にも対応し、英語理解についての個別支援を行ったり、補助資料を準備してくれたりする。